

事務事業名		コンテナ定期航路利用奨励事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業															
政策体系	政策名	05: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間																
	施策名	22: 地域経済を支える鉱工業の振興																			
	基本事業名	03: 港湾利活用の促進と条件整備			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H18 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																
根拠法令		<table border="1"> <tr> <td>部課名</td> <td colspan="4">港湾経済部港湾経済課</td> </tr> <tr> <td>係名</td> <td>運輸振興係</td> <td>電話</td> <td colspan="2">0192-27-3111</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>内線</td> <td colspan="2">106</td> </tr> </table>					部課名	港湾経済部港湾経済課				係名	運輸振興係	電話	0192-27-3111				内線	106	
部課名	港湾経済部港湾経済課																				
係名	運輸振興係	電話	0192-27-3111																		
		内線	106																		
所属	部課名	港湾経済部港湾経済課																			
	係名	運輸振興係	電話	0192-27-3111																	
		内線	106																		
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画 (期間限定複数年度のみ)																
<p>・コンテナ定期航路維持促進に係る各種支援策の一環として実施する事業</p> <p>・コンテナ定期航路を利用する荷主企業に対し利用奨励補助金を交付する。</p> <p>・補助内容は、 (利用奨励) 新規利用荷主に対し、コンテナ1個あたり2万円の補助金を交付する。(1荷主、年間60万円を限度とし、3年以内を補助期間とする) (利用拡大) 利用荷主に対し、年度内の利用について50TEUを1口とし、1口あたり10万円、1年度あたり10口まで交付する。(1荷主3年度を補助期間とする) (ベースカーゴ利用奨励補助) 利用荷主に対し、年度内の利用について500TEUを1口とし、1口あたり150万円、1年度あたり4口まで交付する。(1荷主3年度を補助期間とする) H23.3.11東日本大震災の影響により航路休止中(H23.11.30現在)</p>					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金														
						財源内訳	都道府県支出金														
							地方債														
							その他														
							一般財源														
						事業費計 (A)		0													
人件費	正規職員従事人数																				
	延べ業務時間																				
人件費計 (B)		0																			
	トータルコスト(A) + (B)		0																		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 補助金利用コンテナ個数	個
補助金の交付		イ 補助金利用荷主企業	社
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同じ		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	単位
コンテナ航路の利用荷主		カ コンテナ航路利用コンテナ個数	個
		キ コンテナ航路利用荷主企業	社
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
大船渡港コンテナ航路の利用を拡大し、コンテナ貨物の取り扱いを増やす。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 年間コンテナ数 (実入り+空)	TEU
貿易が拡大し、経済交流が活発化する。		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					22年度 (目標)
			17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	
投入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円				5,835	6,053	5,900
	一般財源	千円		0	11,100	4,405	8,347	5,340
	事業費計 (A)	千円	0	0	11,100	10,240	14,400	11,240
	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		4	96	96	96	96
	人件費計 (B)	千円	0	16	384	384	384	384
	トータルコスト(A) + (B)	千円	0	16	11,484	10,624	14,784	11,624
活動指標	ア	個			555	487	686	537
	イ	社			65	65	78	58
	ウ							
対象指標	カ	個		0	941	620	930	1,138
	キ	社			79	71	97	86
	ク							
成果指標	サ	TEU		0	2,568	1,832	2,501	2,874
	シ							
	ス							

事務事業ID	1217	事務事業名	コンテナ定期航路利用奨励事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ H19.3.30に第1船が入港、H19.4.22に定期運航が開始された。これにともない、集荷力の強化のため利用奨励補助金を創設した。平成20年11月には、更なる集荷を図るため制度を拡充し、利用拡大補助金、ベースカーゴ利用奨励補助金を創設した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 航路開設当初から、ベースカーゴの獲得が課題となっていた。当初、創設した利用奨励補助金は、トライアル利用や一定数量までの利用荷主には効果的であったが、ベースカーゴ獲得には効果が薄く、獲得に至っていない。このため、利用拡大補助金、ベースカーゴ対策補助金を創設し、ポートセールスの強化を図ることとした。 H23.3.11東日本大震災の影響によりコンテナ航路休止中。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 荷主等からは、東北地区のコンテナ航路が開通されている他港湾より有利な助成を求められている。 東日本大震災によりコンテナ航路は休止中であるが、荷主企業から航路再開を望む声が寄せられている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 定期航路の利用促進と、貨物の確保が図られ、貿易拡大につながるものである。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 貨物確保を図るため、定期航路を開通している港湾の多くが採用している事業であり、他港湾との競争力を高めるためにも、港湾所在市として実施すべき事業と考える。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ コンテナ航路の利用荷主が、大船渡港の利用を拡大し、コンテナ貨物の取り扱い量を増やせば、貿易が拡大し、経済交流が活発化するので妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 当該事業の実施のほか、定期的なポートセールス活動による、利用貨物の掘り起こし、確保が重要である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 他港湾の多くが実施している事業であり、事業の廃止・休止は貨物の確保を図る上で支障となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 荷主企業への補助は、当事業のみで、他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ コンテナ定期航路の利用促進、維持安定には、貨物の確保が不可欠であることから、事業費の削減余地はないと考える。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 最低限の業務時間と考えられる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 広く利用企業を募り、貨物の確保、貿易拡大を図る観点から公平・公正と考える。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>コンテナ定期航路の利用を奨励する観点から当該事業のPRに努めている。利用状況や他港湾の動向等を勘案し、助成内容を再考する余地もある。平成22年度は、補助期間が満了する企業も出てきたが、ある程度は、補助がなくても継続的な利用をいただいている。H23.3.11東日本大震災によりコンテナ航路が休止状態となった。その後、申請の自粛もあり、補助額の伸びはなかった。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>H23.3.11東日本大震災により、コンテナ航路は休止状態となっており、その復旧、復興の流れの中で、近隣他港等の荷主向け補助の動向も注視しつつ、当事業のあり方等について検討する必要がある。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航路の再開の動向 ・近隣他港の補助の動向 																						

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	港湾経済課長
-------	--------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>他港湾との競争力を高め、コンテナ貨物の取扱量を増やすには、利用奨励補助金の増加が伴う。貨物取扱量が相当数に達すれば、補助金の削減または廃止に結びつく。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>コンテナ定期航路の早期回復を図り、利用促進に係る他の支援策と一体的に運用しながら、効果的なポートセールス活動による利用貨物の掘り起こしや確保に努める。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 政策推進会議等での指摘事項</p>
